

令和8年2月16日(月)10:10~11:40

(A委員)

- 入学志願者数が減ってきている中で、中学生に対して川内高校に入学してからの向上心や達成感を高揚できるようなアピールが必要なのではないか。他校に負けない魅力を発信してほしい。
- 公立高校と私立高校で教員同士の研修・交流を盛んにしてはどうか。お互いの良いところを吸収し合うことで、様々な問題を改善するヒントになるのでは。

(B委員)

- 生徒の交通マナーについては、中学校でも同じような課題がみられる。具体的には、自転車通学生のヘルメットの不着用や並走、徒歩通学生の横断歩道のショートカットや複数人で固まって歩道をふさぐなど。学校に届く苦情の中で、中学生のことか高校生のことか分からない場合もある。
- 学校保健委員会への保護者の参加率が中学校は50%以下だが、高校はどうか。
(本校職員)限られた方に参加をお願いしており、参加率はほぼ100%である。

(C委員)

- 2年間学校関係者評価委員を務め、学校のことを色々と知ることができて勉強になった。
- 学校外での交通マナーを含め、ほとんどの生徒はしっかりしているように感じるが、少数の違反行為を見るとどうしても印象に残ってしまう。
- 4月から自転車の交通反則通告制度(青切符)が導入されるが、全てが厳しくなるというわけではなく、交通安全を目的として悪質な違反や危険な運転に対して青切符を切れるようにするというものである。生徒にも、違反や危険運転になる理由を考えるきっかけにしてほしい。必要があれば、学校に来て説明したい。
- 50分から45分授業にした分の時間はどのような活用をしているか。
(本校職員)1日あたり35分終業時刻が早まった分、生徒が自分でその時間を活用したり、教員が特別講座を開いたりしている。

(D委員)

- 保護者の学校評価アンケートではあいさつの項目の評価が低かったが、自分が仕事をしている時に通りかかった生徒はよくあいさつをしてくれる。
- 現在の「文武両道」のとらえ方について、学校と保護者で認識のずれがあるように思える。説明やすり合わせが必要なのではないか。
- 交通マナーについて、大通りではきちんとしているが、一本路地に入ったところではヘルメットを外す行為などが見られる。人目に付きにくいところでもしっかりとしてほしい。
- SNSの取り扱いについて、特に生徒の顔がうつるものは慎重に扱うべきである。